

研究課題名	カメレオン PTA バルーンによる内シャントおよび人工血管拡張術の手術成績に関する検討
研究の意義・目的	カメレオン PTA バルーンカテーテルを使用した経皮的血管拡張術によって内シャントおよび人工血管の狭窄を治療することによって、内シャント開存成績や合併症の発生頻度などを検討し、カメレオン PTA バルーンカテーテルを用いた内シャントおよび人工血管拡張術の意義を明らかにします。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可後 ～ 2025年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2021年04月から2025年3月31日の期間、大阪公立大学医学部附属病院においてカメレオン PTA バルーンカテーテルを使用して経皮的血管拡張術を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【年齢、透析歴、性別、透析導入原疾患、既往歴、合併症の有無、シャントの種類、シャントの部位、シャントの造設日、過去の血管拡張術歴、手術所見】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 長沼 俊秀
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 (担当者氏名) 長沼 俊秀 電話番号：06-6645-2366